

講座1 国宝になった白滝遺跡群出土品

令和5年6月27日に白滝遺跡群出土品が国宝に指定されました。これは、南茅部で見つかった「中空土偶」に続く北で2例目のものです。日本の旧石器時代の石器製作の変遷や各種石器の組み合わせを良く示す資料として、歴史的価値が改めて評価されたものです。

この遺跡群は北海道の歴史の中でどのような位置にあるのか、そして出土品はどのような価値があるのかを学びます。



白滝遺跡群 遺跡調査の様子

第1回「遺跡が語る北海道の歴史」

日時/4月16日(火)10:30~12:00

考古学は遺跡の発掘調査を行い、その成果に基づき地域の歴史を明らかにします。その作業は警察の「鑑識捜査」と同じ。発見された土器や石器は「物的証拠」、発見の様子は「状況証拠」。北海道に人が住み始めてから現代のビールまで、発掘調査成果を紹介しながらたどってみます。

第2回「白滝遺跡出土品の価値」

日時/4月23日(火)10:30~12:00

黒曜石は黒く輝く天然のガラス。その特徴から古今東西の人々はさまざまなものに利用した。特に打ち欠くと鋭い刃ができるため、わが国の先史時代では主に石器の素材とされた。そんな黒曜石の魅力と日本最古の国宝「白滝遺跡群出土品」誕生のドラマを発掘担当者が語ります。

講師 / 長沼 孝(北海道埋蔵文化財センター 理事長)

会場 / 石狩市花川北コミュニティセンター

(石狩市花川北3条2丁目198 ☎ 0133-74-6525)

マスクの着用については、自主判断でお願いします。

申込み / 締切 4月2日(火)

受講料 / カレッジ生 500円 一般 700円(各回ごと徴収)

申込み・問合せ / いしかり市民カレッジ運営委員会事務局(社会教育課内)

電話での申し込みは平日(月~金)の9時~17時までをお願いします。

TEL/FAX : 0133-74-2249

ホームページ、FAXは土・日でも受付可能です。

いしかり市民カレッジ

検索